

令和2年度 スマート農業実践教育事業

決算及び事業内容

単位：円

機械名	事業費	機械・機種の導入理由
トラクター	2,035,000	耕うんを真っ直ぐに自動で行う機械を導入することで、熟練が必要な作業を学ぶことができる
超砕土成形ロータリー	903,870	畝立て時に細かく砕土することで、定植作業が容易にでき、また畝立て、マルチを同時に行う省力化作業を学ぶことができる。
ラジコン草刈機	711,480	ラジコン操作による草刈り機を導入することで省力化作業を学ぶことができる。
乗用型複合摘採機	6,364,600	摘採以外に剪枝や裾刈り等にも対応できる乗用型複合摘採機を導入し産地レベルの作業を学ぶことができる。
粗揉機	7,040,000	茶の水分変化を制御盤で「見える化」でき、理論的な製茶技術を学ぶことができる。
合計	17,054,950	

財源：担い手育成・確保等対策事業費補助金（農業労働力緊急支援事業）（国庫・農林水産省） 1 / 2
 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（国庫・内閣府） 1 / 2